平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語4(English4)			**授業コード**	A027862
担当教員名	清水 孝子			**科目ナンバリングコード**	A20308
配当学年	2	**開講期**	後期		
必修・選択区分	選択	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件	履修生はプレイスメントテスト(レベルチエックテスト)を受け、その結果に応じて決められた講義に出席する。課題(プロジェクト)に積極的に取り組む心構えのある学生が履修すること。				
受講心得	受け身の姿勢で授業に取り組むのではなく、課題にチャレンジするという積極的な姿勢が必要。				
教科書	*ENGLISH UPLOAD* (Robert Hickling / Satsuki Osaki著) (金星堂、1995 円) 「英語3」で使用した教科書を引き続き使います。				
参考文献及び指定図書	適宜、参考図書を指示します。				
関連科目	英語1、英語2、英語3、英語5、英語6				

授業の目的	本授業の目的は、大学生にとって基本的な文法の学習を中心に基礎的な英語力を身につけてもらうことにあります。練習問題を通して、英語の4技能をバランスよく育成し、日常生活でよく使われる「英語らしい表現」を学びながら、自己表現の基礎力を習得していきます。
授業の概要	テキストの各ユニットはタスク中心の練習問題によって構成されており、練習問題をすることによって、基礎的なリスニング・スピーキング・ライティング・リーディングの4技能の力をつけていきます。さらに、毎回、実際の自己表現の場を設け、学生同士でコミュニケーションの実践を行います。

○授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 : プレイスメントテスト	
第 2 週 : 授業説明、事前アンケート実施	**配布資料** 演習問題・解答例
第 3 週 : Unit 13 Did You Bring the DVD? 場所と移動を表す前置詞	**配布資料** 演習問題・解答例
第 4 週 : Unit 14 Meat, Corn, Fruit and Drinks Wh-疑問文	**配布資料** 演習問題・解答例
第 5 週 : Unit 15 We Look Pretty Silly a, an, the / one と ones	**配布資料** 演習問題・解答例
第 6 週 : Unit 16 It Was Profesor Goodman 他動詞と自動詞	**配布資料** 演習問題・解答例
第 7 週 : Unit 17 Are You Free on Monday? 能動態と受動態	**配布資料** 演習問題・解答例

第 8 週 : Unit 18 I Think I'll Buy It 形容詞	**配布資料** 演習問題・解答例
第 9 週 : Unit 19 For Your Legs and Heart 助動詞と不定詞	**配布資料** 演習問題・解答例
第10週 : Unit 20 My Dad's Old Desktop 形容詞の比較級と最上級	**配布資料** 演習問題・解答例
第11週 : Unit 21 Ladies First! 副詞	**配布資料** 演習問題・解答例
第12週 : Unit 22 I Just Hope We Get There 等位接続詞	**配布資料** 演習問題・解答例
第13週 : Unit 23 Let's Hope We Get There 関係詞	**配布資料** 演習問題・解答例
第14週 : Unit 24 Let's Do That! So do I. や Neither do I. などの表現	**配布資料** 演習問題・解答例
第15週 : Class Presentation	**配布資料** 演習問題・解答例
第16週 : 期末試験	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	ターゲットとなる文法の形や用法に関心を持つ。
【知識・理解】	ターゲットとなる文法の形や用法に関心を持つ。
【技能・表現・コミュニケーション】	ターゲットとなる文法などを使って自己表現をする。
【思考・判断・創造】	現代的テーマや日本文化を扱った英文を通して、身近な日常の問題について深く考えてみる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	50点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	20点			
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	講義の中で説明します。
発表・その他（無形成果）	講義の中で説明します。